

令和6年度九州農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門					
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要	
1	福岡県	福岡市	福岡食育健康都市づくり地域協議会	 <p>生産者、消費者との交流の場として開催</p>	<p>都市部と過疎地の人的・物的交流を推進し、県産品の消費と理解を促進することで過疎地の経済に寄与。未来の消費者である子供たちに、地元の食材の素晴らしさを広める役割も担っており、学生や生徒にも積極的に運営に加わってもらい、教育的なエンタテインメント要素を取り入れながら農業への理解、地元農水産物への関心を高めていく。</p>
2	佐賀県	江北町	そのもの株式会社	 <p>地産地消、新しい地方創生としてメディアも注目</p>	<p>世界で評価される日本の伝統発酵食「納豆」を原料にした、納豆が苦手な人でも摂取しやすい進化系納豆「そのもの納豆菌シリーズ」では、佐賀県江北町有機研究会の高品質な大豆を使用。地元大豆で作った商品の健康効果を科学的に実証し、健康的で持続的な町づくりを町全体で進めるとともに、生産者の収入安定と労働環境の改善にも取り組む。</p>
コミュニティ・地産地消部門					
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要	
3	熊本県	山鹿市	やまがBASE事業協同組合	 <p>20~30代のUIJ移住者を雇用、人材課題解決</p>	<p>2023年3月に熊本県内で2例目の特定地域事業協同組合に認定され、6月に大阪からのJターン移住者、翌年3月に東京からのIターン移住者、地元中学卒業以来13年ぶりに山鹿に戻るUターン移住者を採用。UIJ移住者雇用と組合員の繁閑に応じた人材不足等の課題解決、新たな挑戦の後押しをする。</p>
個人部門					
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要	
4	長崎県	雲仙市	林田 真明	 <p>地元イベントでのちゃんぽん大行列</p>	<p>郷土食「小浜ちゃんぽん」を確立し、その推進団体である「小浜ちゃんぽん愛好会」の設立による飲食店及び異業種との協働による地域活性化を促進。同時に自らが「ちゃんぽん番長」というキャラクターとなり、様々なメディアを通じて大々的にPRを行うことで、知名度の向上、地域活性化に貢献している。</p>